

学校薬剤師部会では、学校等で購入された様々な銘柄の次亜塩素酸水について調査しています。ほとんどのメーカーが次亜塩素酸ナトリウムと希塩酸を混和させた製品であり、期限が製造日より6ヶ月から1年とありました。

これらの製品について、開封後の経時的な濃度変化を同じ条件で調査したところ、いずれの製品もゆっくりと濃度が低下することがわかりました（資料）。

また、表示濃度と実際の濃度が異なるものも多く見受けられました。

気密容器での保管であっても経時的に濃度が低下するため、期限内であっても配布されたものに関しては、早めに使用されることを推奨します。

なお、夏場の直射日光では一日で濃度が0となります。小分けした場合、容器内の温度が高くならないよう、直射日光を避け、気密容器での保存を推奨します。

（資料）次亜塩素酸水の開封後、気密容器に小分け後の室温保存での濃度変化  
令和2年6月：研究委員会データ

